News Release

RICOH
imagine. change.

2026 年 11 月 18 日

リコージャパン、長野県箕輪町と地域包括連携協定を締結

～ GX や行政 DX などで連携し、SDGs 未来都市計画の推進を支援 ～

リコージャパン株式会社（社長執行役員：笠井　徹）は、11 月 17 日、長野県箕輪町（みのわまち、町長：白鳥　政徳）と、同町の SDGs 未来都市計画の推進に向けた地域包括連携協定を締結しました。



左から、リコージャパン株式会社　デジタルサービス営業本部　長野支社　支社長　青柳和洋、
長野県　箕輪町　町長　白鳥政徳氏

リコー　https://jp.ricoh.com/

報道関係のお問い合わせ先　リコージャパン株式会社　コーポレートコミュニケーション部
E-mail：zjc_rjccd@jp.ricoh.com
お客様の問い合わせ先　リコージャパン株式会社　パブリックサービス本部　自治体事業部
https://www.ricoh.co.jp/contact/

背景

箕輪町は 2025 年度に内閣府の「SDGs 未来都市」に選定され、「箕輪町 SDGs 未来都市計画」を策定しています。

本協定は、箕輪町とリコージャパンが相互の人的・知的資源を活用し、協働して事業を展開することにより、同町の SDGs 未来都市計画に掲げる経済、社会、環境の三側面を統合した持続可能な地域社会の形成と、新たな地域価値の創生に寄与することを目的としています。

両者は、地域 GX や行政 DX、情報セキュリティ、生成 AI の活用、防災などの分野で連携します。脱炭素や行政の業務改革、住民サービスの向上に向け、地域企業や教育機関等との共創や人材育成、普及啓発にも取り組んでいきます。

箕輪町で計画している取り組み

本協定に基づく地域 GX の具体策として、株式会社リコー（社長執行役員：大山　晃）が開発するペロブスカイト太陽電池を搭載した試作品の庭園灯 2 本を、町内の社会体育館入口に設置する実証を計画しています。庭園灯は、太陽電池で発電した電気を照明に利用するものです。

リコージャパンは、本協定の枠組みの下、箕輪町とリコーとの調整などを通じて、実証の推進を支援します。

実証では、寒冷地での性能や防災面での活用可能性を検証する計画です。また、住民にペロブスカイト太陽電池を知ってもらう機会としても活用し、得られた知見を今後の町施設への導入や運用の検討に役立てます。

行政 DX の分野では、住民の利便性向上と職員の業務負担軽減を目指し、窓口サービスや庁内業務の改善に向けたデジタル技術の活用を検討します。個別の施策は、町の課題や優先順位を踏まえ、双方で具体化していきます。

協定の連携事項

(1)地域 GX、脱炭素、省エネルギー及び再生可能エネルギーの活用に関する事項
(2)行政 DX 及び業務改革の推進に関する事項
(3)情報セキュリティ及び安全・安心なデジタル行政の推進に関する事項
(4)生成 AI その他のデジタル技術の適正かつ効果的な活用に関する事項
(5)防災、地域レジリエンス及び住民サービス向上に関する事項
(6)地域企業、教育機関等との共創、人材育成及び普及啓発に関する事項
(7)箕輪町 SDGs 未来都市計画の推進、情報発信による普及啓発及び多様な主体との連携に関する事項
(8)その他相互が必要と認める事項

参考:ペロブスカイト太陽電池に関するこれまでの取り組み

リコーとリコージャパンは、東京体育館での庭園灯の実証や、さいたま市でのペロブスカイト太陽電池搭載 CO2 センサーの実証に取り組んできました。また、リコーは東京都の Air ソーラー(次世代型太陽電池)普及拡大の共同事業者に選定され、都庁舎とお台場海浜公園への庭園灯の先行導入を行いました。

関連ニュース

- ペロブスカイト太陽電池の実証事業を開始(2025 年 8 月 20 日)
  https://jp.ricoh.com/release/2025/0820_1
- リコー、東京都による Air ソーラー(次世代型太陽電池)の普及拡大の共同事業者に選定(2026 年 3 月 27 日)
  https://jp.ricoh.com/release/2026/0327_2
- さいたま市でペロブスカイト太陽電池搭載 CO2 センサーの実証事業を開始(2026 年 1 月 23 日)
  https://jp.ricoh.com/release/2026/0123_1

※社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

リコーグループについて

リコーグループは、世界約200の国・地域で、AIをはじめとする先進テクノロジーと、長年培ってきたプリンティング領域の強みを基盤に、ワークプレイスにおける業務変革を支援するサービス・ソリューションを提供しています。また、商用・産業印刷事業や、インクジェット技術を応用した新たなソリューションの展開を通じて、お客様の価値創出を支えています(2026年3月期グループ連結売上高2兆6,083億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来90年にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

https://jp.ricoh.com/